

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 公民館の利用許可に関すること。 (2) 公民館の維持管理に関すること。 (3) 利用料金の収受に関すること。 (4) 広く市民の生涯学習を推進するために必要な事業を行うこと。

4. 採点表				採点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
評価項目		細目							
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(114%)=利用率(29.8%)÷26.2%(上記①適用)	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) ・大ホール:48.5%(平均値比 126%=48.5%÷38.6%) ・研修室1:35.9%(平均値比 126%=35.9%÷28.6%) ・研修室2:34.5%(平均値比 106%=34.5%÷32.6%) ・和室1:34.8%(平均値比 113%=34.8%÷30.8%) ・和室2:17.7%(平均値比 94%=17.7%÷18.8%) ・料理実習室:7.8%(平均値比 104%=7.8%÷7.5%)	5点
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(147%)=利用人数(延べ30,512人)÷20,699人(上記①適用)	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) ・大ホール:13,814人(平均値比 158%=13,814人÷8,742人) ・研修室1:4,782人(平均値比 169%=4,782人÷2,822人) ・研修室2:4,240人(平均値比 137%=4,240人÷3,103人) ・和室1:3,603人(平均値比 157%=3,603人÷2,301人) ・和室2:2,109人(平均値比 110%=2,109人÷1,916人) ・料理実習室:543人(平均値比 111%=543人÷490人)	5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P67～P72 ①養正公民館まつり(展示部門 1回1,000人・ステージ部門1回250人) ②地域意識醸成事業(地域交流・連携事業) (1)親育ち4.3.6.3たじみプラン事業・ひよこのひろば(4講座7回・延81人) (2)養正健康フェスティバル2022(1回60人) (3)養正元気サロン「らくらく筋力アップ体操」(22回・延869人) (4)こころあったかクリスマス!サンタさんからのおくりもの(1回 473人) (5)餅つき&〇×王にオレはなる!クイズ大会(110人)(中学生まちづくり企画隊) (6)4館公民館合同第8回囲碁将棋交流会(1回29人) (7)3公民館と笠原体育館合同事業「卓球交流会」(2回・養正参加者延30人) (8)3館合同企画「お正月の寄せ植え講座」(1回24人)	仕様書以上 13点	①公民館まつりは、各部門を令和3年度より拡大して開催し、フリーマーケットなどの新規企画を取り入れることにより活性化に努めた。また実行委員会をはじめ地域の関係団体と連携を密にし、事業の成功に寄与した。 ②地域醸成事業では、他公民館との合同事業である「卓球交流会」「囲碁将棋交流会」などで地域を超えた公民館活動の活性化が図られた。特に卓球に関しては障がいの有無を問わず、児童から高齢者までが共に楽しむ環境づくりに努めている。 ③地域団体と連携し、小中高校生が主体的に活動できる機会と場の創出に取り組まれている。	13点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P72～P89 ①こどもの大学 (1)子ども大学チャレンジ隊(通年8回・延277人) (2)多工高「夏のオープンキャンパス」(小学生48人) (3)たじみ子どもの権利の日協賛「めざせ吹奏楽の星」(48人) (4)多高生のサイエンスショー(2回67人)、(5)キラキラキャンドルづくり(37人) (6)感想文の書き方(2回24人)、(7)夏の思い出リースをつくろう(9人) ほか ②大人の大学 (1)10歳若返る!声を出す健康法(4講座22回655人) (2)卓球の日(3講座51回648人)、(3)人生100年の体づくり(2講座5回、延139人) (4)お茶の時間ですよ(46回延1,089人)、(5)古典の世界へ(15回161人) (6)手作りみそ味噌(2回16人) ほか ③養正オープンサークル(15団体) ④養正ヴィルトゥオーゾコンサート(130人)、⑤ボランティア養成講座(1回11人) ⑥共催事業 (1)「戦争と平和展」記念講演(38人)、(2)夏休み卓球交流会(13人) (3)やさしいクッキング(22人)、(4)市民健康講座(18人) ⑦ギャラリールージュ(22回) ⑧VIVA!マナビ!!(9講座31回154人)	期待以上 13点	①コロナ禍の影響による地域のニーズや利用者のライフスタイルの変化をとらえ、公民館活動の活性化のために地域の人材や資源を活用して各世代に対して事業が図られている。 ②近隣に2つの高校がある地の利を生かた高校生と小学生との交流事業や、高齢者サロンでの地域ボランティアとの協力や養正幼稚園との交流事業などの幅広い世代間交流事業を行い、学びの意欲やニーズに沿った地域活動の活性化に寄与している。 ③高齢者向けにはコロナ禍での心身の健康に注目し、通常のサロン事業に加え、健康体操や軽運動の講座にも取り組んでいる。 ④子どもが親子や地域で過ごす時間を大切にする取組みとして多様な体験や交流の事業が設けられており、リサイクル工作など新規事業にも取り組まれた。	13点
		(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P90 ①施設内外清掃(毎日)を実施。 ②定期消毒、除草・剪定等による衛生面の維持・美化保全(季節の花)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			年次報告書P90 ①法定点検を含め適正に実施。 ②自動扉稼働時の動作確認。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			年次報告書P91 ①機械警備業務を委託して実施(毎日) ②大規模修繕箇所調査前点検で最新の状況を把握。(定期点検チェックシート活用)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			年次報告書P91 ①有償修理 全9件 総額405,878円 ②ホール天井照明のLED化、電源スイッチ、給湯器の交換、防災式パネルへの買替等。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P92 ①朝、夕方、閉館時に巡視。建物の屋内外と第2駐車場を目視点検。 ②器具、備品、設備の使用前、後確認。西側駐車場のカープミラー設置。 ③大雨、大風、降雪など天候不良の前後、防火管理は予防的視点で対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P92 ①市ファイリングシステムに準じて、適正文書管理に取り組む。 ②最新情報を共有し、円滑な窓口業務や計画的な掲示などの情報提供。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P92 ①5Sの徹底による安全・安心・快適な施設づくりを実施 ②照明のLED化、室温湿度計の活用、こまめな消灯、扇風機・送風機の活用。 ③毎年継続する講座を対象に、SDGsへの取り組みを実施(子ども大学、合同事業) ④リサイクル機への買替(カラーコピー機)、リユース備品で利便性を向上。 ⑤ごみステーションのカラス問題に地域と協力して対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P93 ①障がい者と健常者が一緒に参加する卓球教室や交流会を開催(意欲向上) ②転倒事故防止のため、来場者の多い事業の際はホールと研修室を土足可に。 ③足の不自由な方などの施設利用には、洋式化した1階和室を紹介。 ④入口近くに思いやり駐車場を設け、高齢者や障がい者に配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 研修室と料理実習室が2階にあるため、階段の利用が困難な利用者に対しての配慮に努めている。	
			④備品管理			年次報告書P93 ①利用団体の預かり備品は保管申請書の提出と危険物でないことを確認。 ②備品の配置見直し、名称表示で利用者が扱いやすく。 ③リサイクル、リユース備品の活用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P93 ①情報は業務遂行上必要な項目のみ。撮影許可や使用等は事前承諾を得る。 ②感染防止対策による来館者情報は1か月保管後、シュレッダーにより適切に廃棄。 ③裏紙の再利用は、個人情報が含まれていない点検済み用紙を使用。 ④個人情報の記載された資料とデータは、鍵付きキャビネットに保管・管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入22,551,242円÷支出23,374,053円＝96%	100%未満 3点	【参考】令和元年度101%、2年度92%、3年度98%	3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	事業報告書P96～97 ①地域性を考慮した健康づくり講座を多数実施。 ②成人卓球の利用者増に伴う卓球教室の追加開講。 ③中学生主体の地域ボランティア活動への協力依頼に応え活動支援。 ④小学生向け講座の講師を希望する地域住民に応え、講座開講を支援。 ⑤会員減少に悩むサークルの要望に応え「養正オープンサークル」を実施。 ⑥新規事業「人生100年の体づくり」講座の継続希望に応え講座を追加。 ⑦「養正小20年前のタイムカプセルを開けたよ!」の展示と展示後の協力。 ⑧地域福祉協議会と青少年まちづくり市民会議への協力。(花いっぱい運動、お正月イベント)、ベルマーク活動に協力。 ⑨地域住民への交通安全委員や本町交番からの啓発活動に協力。	期待以上 9点	①講座受講者の講座継続の要望や存続に悩むサークルに対して寄り添う姿勢が、公民館利用者への信頼につながっており、地域との良い関係がうかがえる。 ②タイムカプセルの扱いや地域から求められる啓発活動への協力など、予定外の様々な依頼に対して柔軟に対応しており、公民館が地域の拠り所となっている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P98～101 ①市の公共施設点検マニュアルを活用し、長寿命化やニーズに沿った改善を推進。 ②地域防災意識の向上に向けた、参加型の防災・避難訓練を実施。 ③令和3年度に中止したコンサートを、地域の要望に応え再企画して実施。 ④地域や学校による夏休み講座を充実させ子どもの居場所づくりを推進。 ⑤コロナ禍でも、地域の高齢者と養正幼稚園児との交流を連携協力して継続。 ⑥図書館本館との連携で絵本を更新し図書室の環境を整備。団体貸出を活用した事業の充実や整理本の再活用でSDGs活動に繋がりました。 ⑦地域の子どもが安心して過ごせる場所やイベントのコーディネート。 ⑧他施設との連携事業を推進。児童デイサービスに通う児童の参加や交流。 ⑨地域の関係機関との連携を継続し、公民館活動を活性化。 ⑩小・中・高校生や地域ボランティアの活躍の機会を設け人材育成を図った。 ⑪施設に求められる変化と利用者ニーズを汲取り、新規事業を提案。 ⑫誰もが安心して暮らせる、顔の見えるまちづくりを地域と共に推進。	期待以上 13点	①市の重点事業に沿い、地域の特徴を生かしてすべての世代が参加できる交流事業が企画運営に努めている。 ②児童・生徒の活動や発表の場を求める学校等に連携を促し、地域活動の拠点としての機能を果たすための体制や意識が整っている。 ③地域ボランティア育成の継続や地域リーダーの発掘・育成を通して地域との協働活動に積極的に取り組まれている。 ④コロナ禍での安全安心な事業の実施やコロナ後を見据えた事業展開、環境整備による公民館活動の活性化に向けた努力がうかがえる。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ①幼稚園、小学校、中学校、高校が近在する住宅地という地域の特徴から、多世代が集いやすい環境を活かした事業が取り組まれている。 ②公民館活動を通じて、子どもから中高生、高齢者までがお互いに良い影響を与え合いながら、地域の役割を担っている。 ③学校関係や自治会、市民団体などの地域活動と公民館が相互に助け合っていることで、それぞれの事業が高めあえている。	極めて良好